

**令和4年度霧島市
「緑のカーテン」普及啓発事業アンケート結果報告書**

鹿児島県霧島市
市民環境部環境衛生課

令和4年11月



<目 次>

- 1 「緑のカーテン」普及啓発事業の目的について・・・P1
- 2 「緑のカーテン」普及啓発事業について・・・・・・・・P1
- 3 アンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・P4
- 4 末永先生ワンポイントアドバイス・・・・・・・・P8
- 5 取組事例写真・・・・・・・・・・・・・・・・P10

1 「緑のカーテン」普及啓発事業の目的について

地球温暖化対策を推進するためには、市民の理解と行動が不可欠であることから、市民が家庭等で取り組みやすい対策のひとつとして緑のカーテンの普及を図るために、平成21年度から実施しています。また、これまでのアンケート結果から地球温暖化防止以外にも環境学習、周囲の人とのコミュニケーション、心理的な癒し効果など様々な利点があることがわかりました。

本アンケート結果は、今年度、本事業に参加された市民の皆さんのアンケート結果を取りまとめたものです。

～緑のカーテンとは～

つる性の植物を窓際にはわせて遮光し、室温の上昇を抑制することにより、冷房で消費される電力量及びこれに伴うCO₂を削減し、地球温暖化を防止するとともに、ヒートアイランドを抑制することを緑のカーテンと呼んでいます。

2 「緑のカーテン」普及啓発事業について

(1)参加グループ数

76グループ（56団体）

(2)募集期間

令和4年3月23日（水）から4月15日（金）

(3)説明会及び苗配布

令和4年5月28日（土） 午前10時から正午

国分シビックセンター多目的ホール

(4)説明会内容（敬称略）

苗の育て方講座・・・講師：国分中央高等学校園芸工学科生徒 12名

質疑応答・・・講師：末永 高志先生(国分中央高等学校園芸工学科)

苗配布・・・1グループにつきゴーヤ苗4、ヘチマ苗1、パッションフルーツ苗1
苗は、国分中央高等学校の生徒が育苗したものを配布しました。

(5)アンケート結果

回収率・・・80%（56団体中45団体）

※P4～P7に結果内容を掲載しています。

説明会の様子

会場



国分中央高等学校園芸工学科の生徒による育て方講座



国分中央高等学校園芸工学科末永先生によるワンポイントアドバイス



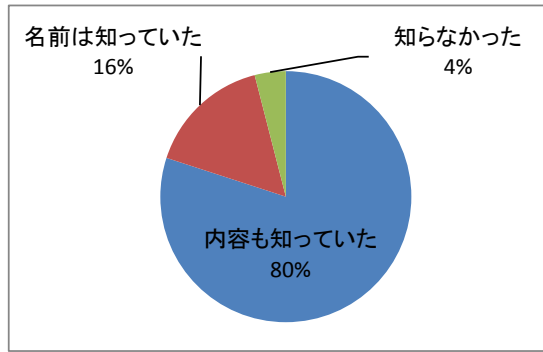
苗配付



令和4年度霧島市「緑のカーテン」普及啓発事業アンケート結果

質問1 緑のカーテンという言葉を知っていましたか。

内容も知っていた	36 人	80%
名前は知っていた	7 人	16%
知らなかった	2 人	4%
無回答	0 人	0%
計	45 人	—

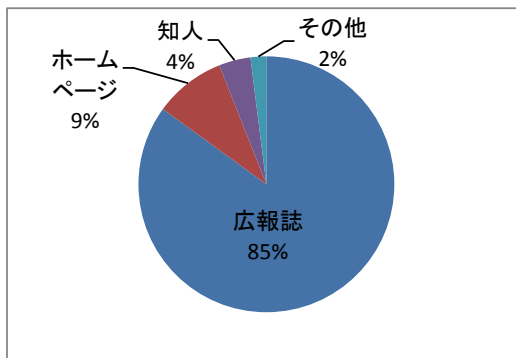


『考察』

8割の方が内容を知っているということから、緑のカーテンが広く認識されていることがうかがえる。

質問2 今回の事業を何で知りましたか。

広報誌	38 人	85%
ホームページ	4 人	9%
FMラジオ	0 人	0%
知人	2 人	4%
その他	1 人	2%
無回答	0 人	0%
計	45 人	—

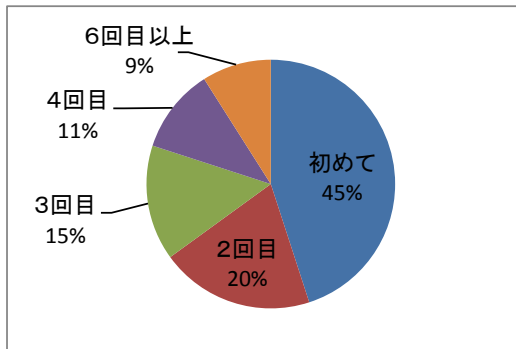


『考察』

広報誌を見て応募される参加者が大半を占めている。広報誌により参加の定着率が上がっている。

質問3 事業への参加は何回目ですか。

初めて	20 人	45%
2回目	9 人	20%
3回目	7 人	15%
4回目	5 人	11%
5回目	0 人	0%
6回目以上	4 人	9%
無回答	0 人	0%
計	45 人	—

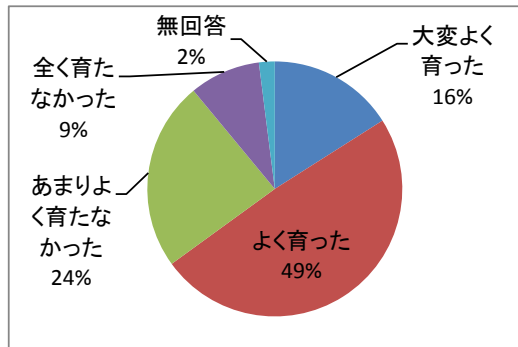


『考察』

今年度は半数近くが初参加の方で、多くの市民の方が新たに緑のカーテンの育成に取り組んだ。

質問4 育成状況を教えてください。

大変よく育った	7人	16%
よく育った	22人	49%
あまりよく育たなかった	11人	24%
全く育たなかった	4人	9%
無回答	1人	2%
計	45人	—



【自由意見】

〈成功意見〉

- ・植え付けが昨年よりも遅かったのですが、盆を過ぎても緑のカーテンを維持できた。
- ・20～25cm位のゴーヤが10本とれ、その後だんだんサイズは小さくなったがたくさん収穫できた。
- ・実の付きは悪かったが、日陰にはとてもよかった。

〈失敗意見〉

- ・プランターでは成長が悪かった。
- ・日当たりが悪く、よく育たなかった。
- ・台風で傷んでしまった。
- ・虫に食われてしまい、育たなかった。
- ・葉は茂っていたが、実がならなかった。
- ・7月末頃から葉が枯れ始めてカーテンの効果がなくなった。

『考察』

緑のカーテンをうまく作る事ができたという意見の一方で、栽培環境や台風の影響による失敗意見が寄せられた。

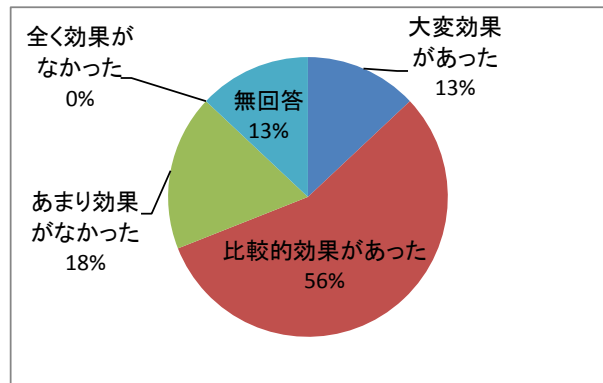
緑のカーテンを実施した箇所と実施しなかった箇所の温度を測定してください。

質問5 * 晴れた日の午後2時頃1回計測してください。

屋外	カーテン実施した箇所平均	30.6	度	屋内	カーテン実施した部屋平均	28.5	度		
	実施しなかった箇所平均	32.4	度		実施しなかった部屋平均	29.6	度		
↓				↓					
		平均温度差	▲ 1.8	度			平均温度差	▲ 1.1	度
		最大温度差	4.0	度			最大温度差	3.0	度

緑のカーテンの効果がありましたか。

質問6	大変効果があった	6 人	13%
	比較的効果があった	25 人	56%
	あまり効果がなかった	8 人	18%
	全く効果がなかった	0 人	0%
	無回答	6 人	13%
	計	45 人	—



【自由意見】

＜効果あり＞

- ・西日の当たる部屋が一番効果を感じた。
- ・午後からの日差しをかなりカットできた。
- ・外部からの目隠しと、西日避けになった。
- ・部屋の中がまぶしくなく、涼しい感じがした。
- ・緑が見えて、見た目にも涼しかった。

＜効果なし＞

- ・窓が小さいためあまり効果を感じなかった。
- ・肥料が足りなかったようで、カーテンにならなかった。
- ・葉が小さく隙間があったため、日光を遮ることができなかった。

『考察』

温度の低下だけではなく、視覚的にも涼しく感じるという意見が多かった。

栽培するのに苦労した点、分からなかった点、工夫した点はありましたか。

質問7【自由意見】

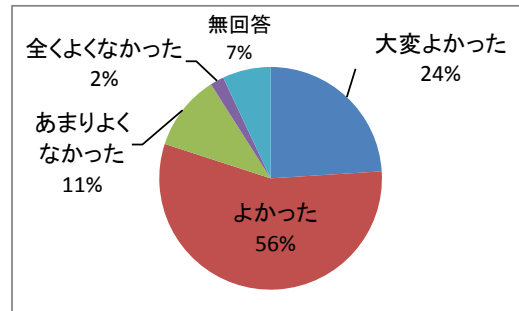
- ・芽を摘む場所が悪かったのか、一時成長が止まった。
- ・水の渴きが早く、水やりが大変だった。
- ・台風対策に苦労した。
- ・肥料が足りなかったのか、実が大きくならなかった。
- ・支柱をたてるのが大変だった。
- ・花は咲くが、実にならなかった。
- ・小さいプランターに一苗ずつ植えたため、隙間ができてしまった。
- ・説明会のおりにしてみたが、環境等に違いがあり、栽培の難しさを感じた。
- ・連作障害で育たなかった。
- ・植える場所の確保に苦労した。
- ・植付け後の強い日差しに苗が負けて枯れてしまった。
- ・ゴーヤが育たなかったのが、何がダメだったのか分からなかった。
- ・プランターに植えたのだが、夏場の水管理が大変だった。
- ・パッションフルーツの栽培法がよく分からなかった。
- ・大きくなりすぎて、管理が大変だった。
- ・今年はたくさん虫に食われてしまった。
- ・来年用の種子の確保ができた。

『考察』

夏場の水やりや台風対策が大変だったという意見や、育て方に苦慮している意見が多く見られた。

取組全体の感想を教えてください。

質問8	大変よかった	11 人	24%
	よかった	25 人	56%
	あまりよくなかった	5 人	11%
	全くよくなかった	1 人	2%
	無回答	3 人	7%
	計	45 人	—

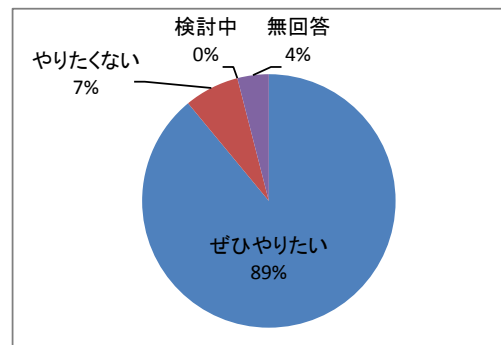


【自由意見】

- ・初めての取組で出費は大きかったが、夏は涼しく、気持ちよくすごせた。
- ・回を重ねることで少しずつうまくいくようになってきた。
- ・天気が悪いのと、追肥不足で不作だった。
- ・緑のカーテンを撤去してから室内への日差しが強く、改めて効果が大きいと実感した。
- ・生育が良くなかったなので、来年はプランターの土を入れ替えて育てたい。
- ・今回の結果を踏まえ、次回の参考にしたい。
- ・緑のカーテンも良かったが、ゴーヤをたくさん収穫できたのがうれしかった。
- ・育つ過程を楽しめた。
- ・連作障害を実感できたので、次への勉強になった。
- ・強い台風にも耐えて育てくれた。
- ・ヘチマの生育がよかった。
- ・台風に備えてプランターを撤去することになったのが残念だった。
- ・パッションフルーツの花のきれいさに感激した。
- ・中央高校の生徒さん達に教わったことを実践したら、とても良く育てくれた。

来年度もやりたいと思いませんか。

質問9	ぜひやりたい	40 人	89%
	やりたくない	3 人	7%
	検討中	0 人	0%
	無回答	2 人	4%
	計	45 人	—



『考察』

来年度も実施したいという意見が9割近いことから、事業の有益性がうかがえる。

4 末永先生のワンポイントアドバイス！

(国分中央高等学校園芸工学科教諭)

◎水やりの方法

水やりの時間は、気温の高くなる日中を避けて、朝夕の涼しいうちにしたほうがよいです。水やりの量は、プランターで栽培している場合、土の表面が白っぽく乾いたら下の排水口から水が出てくるくらいたっぷりあげましょう。梅雨の時期は雨で土に含まれている水の量が多すぎて根腐れが発生しやすくなります。この時期はプランターの底の一方側にレンガなどを敷いて傾けておき、強制的に排水してあげると良いでしょう。

なお、プランターの土は表面が硬くなりやすい条件にあります。土の表面にワラなどを薄く敷いてあげると、土が硬くなることが防げるのではないのでしょうか。たまに、プランターの横から軽くたたいて、土をほぐしてあげると、水はけは一段と良くなると思います。

最後に、緑のカーテンを設置する場所は、とても日当たりの良いところです。カーテンが出来上がるまでの期間、日中は土、プランターどちらも、直射日光が当たるため、かなりの高い温度を保ったままの状態になってしまいます。そこで、プランターに一工夫してみてください。例えば、プランターの外側にアルミホイルのような銀紙を張ってあげるので。すると、温度の上昇も防げるほか、アブラムシ等の害虫が寄ってこないといった効果も得られます。

◎肥料のやり方について

肥料を与える前に、注意することがあります。それはプランター栽培の場合も、地植え栽培の場合も出来るだけ、毎年土を入れ替えてあげることです。何年もプランター栽培で利用した土を続けて使ってしまうと、生育は極端に悪くなります。地植えの場合も冬場に掘り起こして寒さに当てておくことや堆肥を混ぜて土作りをしておくことが大切です。

さて、肥料についてですが、肥料には様々な種類があります。出来ればゆっくりと肥料分が溶け出していくような「緩行性の肥料」が良いと思います。肥料の量は肥料の粒の大きさにもよりますが、追肥の場合（2週間おきが目安）1回につきスプーン2杯程度が限度でしょう。やりすぎに注意してください。また、肥料は土に混ぜるようにしてください。時期によって「元気がなくなったな」「早く肥料を効かせたいな」と感じたら、1000倍くらいの液体肥料を水やり代わりに与えても良いのではないのでしょうか。

◎ツルの摘み方

先に伸びようとするツルの先端が多すぎると、植物は疲れてしまいます。目標の高さや広さに達したら、ツルの数を制限するために先端部分を随時摘んであげましょう。すると、元気のいいツルが葉の付け根より出てきます。葉の密度が高い緑のカーテンができあがることでしょう。なお、ツルを摘む場合は、摘んだ後の切り口が乾くように天気の良い日を選んでください。

◎親ツルと子ツルの見分け方

基本的に親ツルの葉の付け根から出てきているツルが子ツルです。その子ツルの付け根から出てきているツルが孫ツルです。ヘチマやゴーヤは子ツルや孫ツルの葉の付け根に雌花が付きやすい性質を持っています。実の収穫する量と葉を茂らせる面積とがバランスよくなるように、生育状態を観察しながら、先ほど述べたツルの先端を摘むこと(摘心)を行ってください。なお、あまり細かく子ツルや孫ツルを見分けて管理していく必要はないと思います。

◎長持ちできる緑のカーテンに最適な植物

全国各地で緑のカーテンに利用されている植物は多岐にわたっているようです。「今後、利用されてみては」と考える植物を下に上げてみます。参考になさってください。

(果実を収穫出来る楽しみのある植物として)

- ・ヘチマ
- ・ゴーヤ
- ・大長ササゲ
- ・シカクマメ
- ・ヒョウタン

(花を楽しむ植物として)

- ・ヨルガオ(夕顔)
- ・オーシャンブルー(宿根性アサガオ)
- ・ブーゲンビリア



今後とも、高校生の生徒達とともに「緑のカーテン」普及啓発事業へ協力させていただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

5 取組事例写真



